

# CHUBI

Vol. **01**  
2024.04

## 美術

1

美術との出会い

## 美術

2・3  
上

学びの実感と深まり

## 美術

2・3  
下

学びの探求と未来

令和7年度版中学校美術科教科書

生徒の「学びたい!」を引き出す

# 表紙 & 巻頭の3つの工夫

日本文教出版の Web サイト  
新版教科書情報



日文 🔍

※本冊子掲載の三次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。  
本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。



心が動く、その先へ。

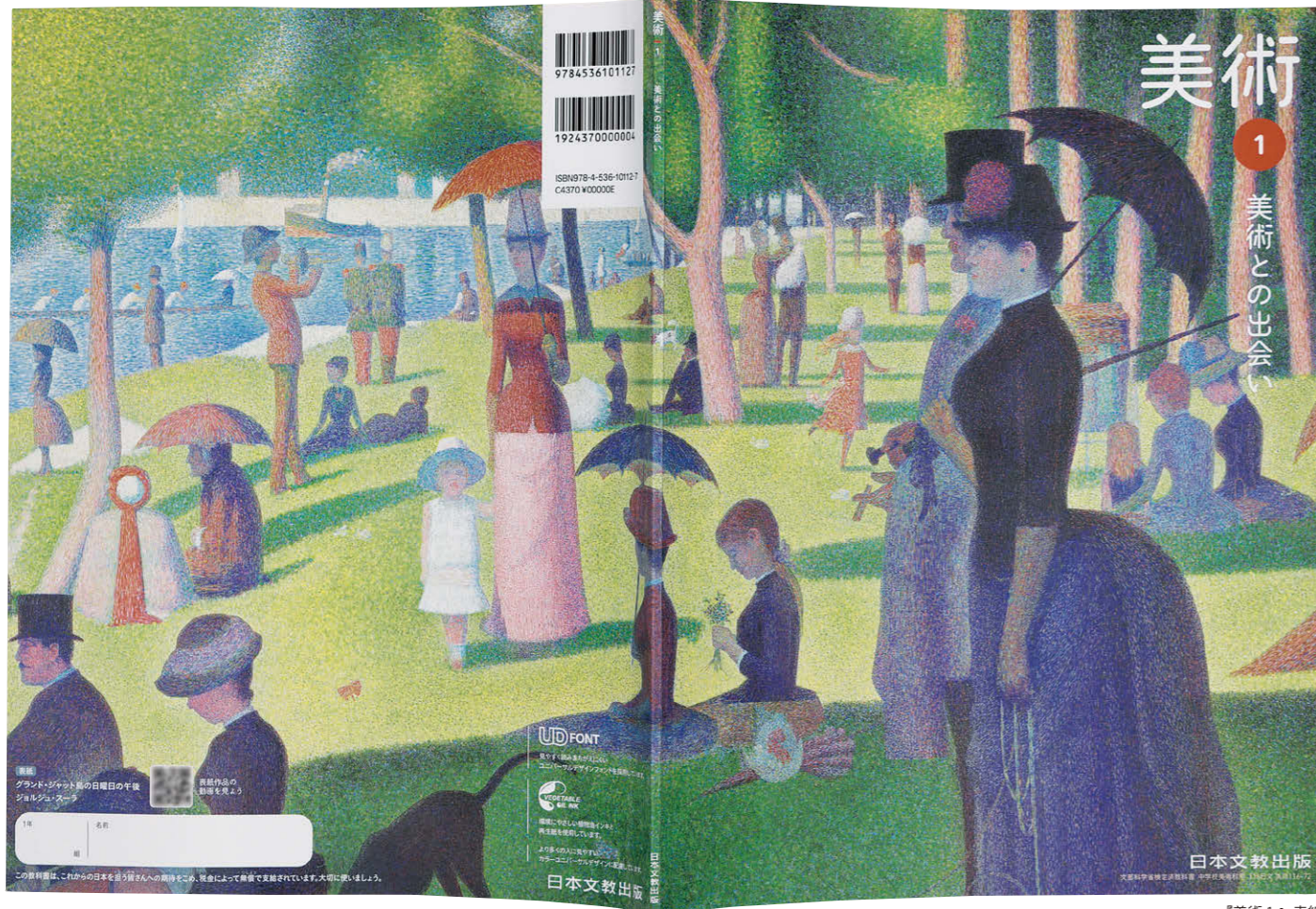
日本文教出版

# 令和7年度版中学校美術科教科書 生徒の「学びたい!」を引き出す 表紙&巻頭の3つの工夫

## 1 作品を裏表紙にかけて大きく掲載!

生徒が中学校の美術で初めて出会う作品は、きっと教科書の表紙に掲載された作品ではないでしょうか。そんな特別な作品との出会いをより印象的なものにするために、新しい教科書では、裏表紙にかけて作品を大きく掲載しました。まずは大きな図版で生徒の興味をひきます。

裏表紙まで開くと…



『美術1』表紙

表紙と巻頭ページでは、各学年で「どんなことを意識して何を学ぶのか」を示しています。生徒が美術を学びたいと思えるかは、ここでいかに生徒の心を掴めるかにかかっていると考えています。そこで令和7年度版の教科書では、生徒の「学びたい!」を引き出すために新たな工夫を3つしました。本資料では、その工夫について紹介します。

## 2 表紙作品と関連した巻頭ページ

巻頭ページは、「これから1年間どんなことを意識して何を学んでいくのか」を、表紙の作品やそれに関連した作品の鑑賞を通して理解していける構成になっています。そのため、生徒は、表紙でもった興味を途切れさせることなく、スムーズに「これから何を学ぶのか」を理解できます。



『美術1』p.2-4「美術との出会い」

**習作と比べて考えよう**  
クラスの人たちと吹き出しのような「問い」をつくって、お互いに考えてみましょう。

**描き方に注目してみよう**  
絵を描く時は、パレットの上で絵の具を混ぜる人が多いのではないのでしょうか。しかし、スーラはチューブから出した絵の具を混ぜることなく、明るく色の点をたくさん並べました。なぜこのような描き方をしたのでしょか。

鑑賞を通して、各学年の学びを体験!

例えば、『美術1』では1年生を想定し、新たな見方や考え方に会うことを学びのテーマとしています。そこで巻頭ページでは、表紙作品と習作を比べたり、表紙作品の原寸大の図版を見て描き方に注目したりすることを通して、今までにない見方や考え方に気づけるようになっています。

### 2, 3年生向けの表紙と巻頭ページ

2年生を想定し、「学びの実感と深まり」をテーマにした『美術2・3上』では、富士山をモチーフにした複数の作品を比べて見方や考え方の深まりを体験します。3年生を想定し、「学びの探求と未来」をテーマにした『美術2・3下』では、現代美術の作品の鑑賞を通して、社会に生きる美術の力について考えます。



『美術2・3上』表紙、p.2-4「学びの実感と深まり」



『美術2・3下』表紙、p.2-4「学びの探求と未来」

# 3 表紙と巻頭ページの 理解を深める 動画コンテンツ

各冊の裏表紙の二次元コードから、表紙と巻頭ページの作品に込められた作者の思いや、描かれた背景を紹介した動画を見ることができます。



## 点描の秘密を知り、 新しい見方や考え方に気づく

表紙作品「グランド・ジャット島の日曜日の午後」について解説しています。ジョルジュ・スーラがなぜ「点描」で絵を描いたのかを知ることで、1年生は、今までにない見方や考え方に気づくような学びをしていくのだと意識できます。



## 「凱風快晴」の工夫を知り、 見方や考え方を深める

前すみだ北斎美術館館長・橋本光明さんが、表紙作品「凱風快晴」について解説しています。木版画の表現や葛飾北斎のさまざまな工夫を知ることで、2年生では、見方や考え方を深める学びをしていくのだと意識できます。



## 現代美術に触れ、 社会に生きる美術の力を考える

表紙作品「Tunnel of Light」や、オラファー・エリアソンの作品について解説しています。新しい見方や考え方を生み出す作品を知ることで、3年生では、社会に生きる美術の力について考えながら学んでいくのだと意識できます。



日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690